

日本精神科看護技術協会 香川県支部 講演会

テーマ：臨床における暴力とケア

講師：薫風会山田病院 専門看護師 江波戸和子

日時：2011年12月3日（土曜日）10:00～16:00

会場：サンメッセ香川 2階 中会議室

高松市林町 2217-1 TEL:087-869-3333



近年、臨床における暴力について様々な報告や取り組みがなされるようになりました。医療の第三者評価機関である日本医療機能評価機構においても、臨床における暴力への対応が審査項目として掲げられるようになってきています。しかし、実際の対応は始まったばかりであり、特に被害者へのケアについては試行錯誤といった段階ではないでしょうか。私への相談も、同僚として、管理者としてどのようにしたらよいかわからないといったものが多く寄せられます。さらには、臨床における暴力は、基礎教育での実習場面で会うことも多く、その対応に頭を悩ます方も多いと思います。

今回の講演は、昨年の講義をもとに、被害者の心のケアに比重を置いていくつかの試みをご紹介します。今、関心の高いデブリーフィングの実際についてもご紹介いたしますが、スタッフでもできる心のセルフケアやスタッフ同士が支えあうケアを中心に、暴力に限らず広く看護師のメンタルヘルスに貢献できれば幸いです。

昨年の講義に参加なさっていらっしゃらない方、または、昨年の講義内容をすっかりお忘れの方もご安心ください。講義には、昨年の簡単な「復習」も含めております。その点で、昨年ご参加の方は内容の重複がありますことをどうかご容赦・ご承知おきください。また、CVPPPを受講なさっていない方も大丈夫です。私自身が米国で受講したPART®というプログラムに沿って、暴力の基本的な考え方や対応についてご紹介いたします。精神科以外のスタッフの皆様も歓迎いたします。臨床における暴力は、精神科よりもむしろ一般科の方が発生も多く、深刻な状況にあります。ぜひ精神科で始まった様々な試みを活かして頂けたらと願っております。

当日は、少々重いテーマの上、長い講義時間ですので、皆さんと楽しく“勉強”したいと思っています。また、私自身もよい体験を共有できます1日であることを楽しみにしております。皆様の参加をお待ちしております。